

富山県立学校及び富山県市町村立小中学校・義務教育学校
次世代校務 DX 環境構築・運用業務に関する情報提供依頼
(RFI : Request For Information)

富山県教育委員会

1 業務名

富山県立学校及び富山県市町村立小中学校・義務教育学校 次世代校務 DX 環境構築・運用業務に関する情報提供依頼

2 本情報提供依頼(以下、「本 RFI」)の目的

富山県では、令和8年3月に富山県教育の新しい羅針盤となる「第3期富山県教育大綱(第4期富山県教育振興基本計画)」(以下、新たな大綱)を策定しました。

新たな大綱では、基本理念として「生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める」を掲げ、その実現に向け、4つの教育方針と10の施策の方向性を示しました。

教育 ICT に関しては、教育方針のうち、「子どもたちの学びを支える教育環境を構築」するものであり、学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくりに取り組むため、学校の ICT 環境の整備を進めるものです。さらに教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくりに取り組むため、学校における働き方改革の推進や教師の資質能力の向上にも資するものとなります。

本 RFI については、富山県内の県及び市町村が共同調達及び共同利用を前提とした次世代校務システム環境を整備するにあたり、必要となる具体的な製品やサービス及び、これらに係る費用等について、専門的知見を有する事業者から広く情報を収集するために実施するものであるとともに、機能要件への適合性のみならず、共同利用環境における運用性、拡張性、標準化への適合性、データ活用性、将来的なベンダーロックイン回避策についても確認することを目的とします。

3 期間

令和8年10月2日(金)～ 令和8年10月30日(金)17時まで

4 対応方針

本 RFI に係る対応方針を以下に示します。

(1) 文部科学省が示す以下のガイドライン等を踏まえることを前提とします。

ア 次世代の校務 DX ガイドブック

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369_00002.htm

イ 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm

ウ GIGA スクール構想の下での校務 DX について

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html

- (2) 本 RFI に関する調達範囲については、以下を想定してします。各社ごとに提供可能な範囲に限定したものでも構いません。
- ア 市町村小中学校・義務教育学校
- ① 次世代校務支援システム
 - ② 認証基盤
 - ③ セキュリティ基盤
 - ④ Microsoft365 及び GoogleWorkspace のライセンス
- イ 県立学校
- Microsoft365 及び GoogleWorkspace のライセンス
- (3) 本 RFI の内容には全て回答をお願いします。ただし、回答が難しい場合は、一部回答でも可とします。その際、可能な限り回答が難しい理由も添えてください。今後の参考とします。
- (4) 提案する上での前提条件があれば回答概要資料に記載してください。また、仕様書や要件一覧に対して代替案が提案可能な場合は、前提条件と代替案を記載してください。
- (5) 現時点でリリースされていない機能等の提案も可とします。ただし、構築スケジュールやリリース予定時期を考慮して提案してください。また、リリース予定時期も記載してください。
- (6) 提案する各製品やサービスの内容が分かる資料を別途、提供してください。資料については特段の制限がない限り PDF 化を行い別紙の形で添付してください。

5 前提条件

本 RFI に係る前提条件を以下に示します。

- (1) 本事業は県及び市町村による共同調達を想定しています。事業者は以下の運営形態を前提として提案するものとし、共同利用環境における効率的な運営手法について提案してください。
- ① 県が全体統括を実施
 - ② 市町村個別要望は協議会にて審議
 - ③ 原則として標準機能利用
 - ④ 個別のカスタマイズは抑制
 - ⑤ 機能追加の可否は協議会にて決定
 - ⑥ 認証基盤、セキュリティ基盤については全市町村参加ではなく希望する市町村のみ共同調達を実施
- (2) 詳細については、「別紙1_仕様書(案)」「別紙2_校務支援システム機能一覧(案)」「別紙3_帳票一覧(案)」を参照してください。
- (3) 見積に利用する各市町村等の情報については「別紙4_保有ライセンス等一覧」「別紙5_市町村基礎情報」の内容を前提とします。

- (4) 本 RFI による校務支援システムの契約開始時期は、令和11年4月1日以降、現行契約の終期に併せて順次行うものとします。なお、その他各種ライセンスについては、令和11年3月31日以前であっても、準備が整い次第契約開始を行う可能性があります。
- (5) 本契約終了時には、データ返還を求めます。データ返還に関する事項についても回答をお願いします。

6 提出資料

本情報提供依頼の回答として、以下を提出してください。

(1) 回答概要資料(任意様式)

回答概要資料には、以下の内容を盛り込んでください。回答概要資料に記載することが難しい場合は、別紙にて提供してください。

章	項目	主な記載事項
1	提案の全体構成	・ 提案する次世代校務 DX 環境の全体像 ・ 提案する共同利用環境における効率的な運営手法 ・ 文部科学省が提唱する強固なアクセス制御を実現する為のセキュリティ対策イメージ ・ 費用按分方式について、システム種別ごとに採用した按分方法に対する考え方を記載ください。
2	提案ソリューションの概要	・ 提案する次世代校務 DX 環境を構成するソリューションの製品名や特徴、利用可能端末、利用可能ブラウザなど ・ 全国導入実績、都道府県共同調達実績(稼働学校数、利用児童生徒数、利用教職員数)、現時点における今後 5 年間の製品ロードマップ ・ 構成ソリューションの見積積算に対する考え方 (例) システム(テナント)単位、学校単位、児童生徒数、教職員数、利用者すべて等 ・ API により取得可能なデータ範囲と仕様について ・ 契約終了時における CSV 等によるデータ提供及び API 連携に必要な仕様情報の提供可否 ・ 現在又は今後5年間で提供予定の生成 AI を活用した機能について (例) 所見作成支援、検索支援、問い合わせ支援、分析支援

		・ 生成 AI 活用時における、教育データの学習利用有無、利用時の匿名化方針について ・ 想定している標準サービスレベル(SLA) 月間稼働率(%) 計画停止時間(時間／年間) 重大障害時の一次回答時間 重大障害時の復旧目標時間 通常問合せ時の一次回答時間 電話受付時間 メール受付時間 重大障害時の受付時間 障害発生時の報告手順 なお、追加費用による向上 SLA がある場合は併せて提示してください。
3	スケジュール	・ 設計・構築スケジュール(標準機能のみで構築した場合の導入スケジュール) ・ スケジュール遅延リスクに対する対応策
4	データ移行について	・ 旧システムからの移行可能項目 ・ 取り込み可能なファイル形式、データレイアウト ・ 移行費用(別紙6と整合をとること)
5	データ返還について	・ 出力可能データ項目 ・ 出力形式 ・ データレイアウト ・ 費用有無(有の場合は概算費用を記載してください) ・ 後継事業者への引継支援内容 ・ 返還までの期間
6	強固なアクセス制御による対策(端末・サーバ・通信の安全性に関する要素技術)に関する構成提案及びソリューション認証基盤の概要	・ 次世代校務 DX におけるゼロトラストアーキテクチャへの対応方針について ・ 認証基盤の概要 ・ セキュリティ基盤の概要 ・ 採用予定製品の概要 (認証基盤の例) 認証方式(SAML、OpenID Connect 等)及び実装方法 ライフサイクル管理機能、異動・退職時の自動権限変更機能

		自治体ごとのテナント分離方式 保護者アカウント対応可否 (セキュリティ基盤の例) EDR、MDM、ログ管理、SIEM、CASB、SWG メールセキュリティ、情報漏えい対策、端末紛失対策 ランサムウェア対策
7	サポート体制について	・ 受付チャネル(電話、メール、Web 等) ・ 受付時間 ・ 重大障害時受付体制 ・ 通常問い合わせの一次回答目標 ・ 繁忙期(年度更新期間等)の対応体制
8	障害及びインシデント対応体制について	・ 重大障害時の連絡体制 ・ 県及び市町村への報告手順及び期限 ・ エスカレーション体制 ・ 事故対応に要する費用負担の考え方
9	追加提案等	・ 次世代校務 DX 環境整備に向けた追加の提案 ・ 本事業を実施する上で、事業者が想定する主要リスク及び成功要因 ・ 共同調達・共同利用を成功させるために発注者側で事前に整理すべき事項について
10	会社概要	・ 会社概要(パンフレット等の添付で対応可) ・ 校務 DX の類似業務に関連する主な業務実績 ・ 過去 3 年間の重大障害件数及び概要、過去 3 年間の情報漏えい事故件数及び概要 ・ ISMS 認証等、第三者認証取得状況

(2) 仕様書に対するご意見

「別紙1_仕様書(案)」に仕様に対して、修正提案や実現性に関するご意見があれば、Word のコメント機能を利用し記載のうえ、Word 形式で提出してください。

(3) システムが有する機能について

- ア 「別紙2_校務支援システム機能一覧(案)」について、機能の有無、追加費用、対応時期、備考欄に追記するとともに、修正提案や実現性に関するご意見があれば、備考欄に記載のうえ、Excel 形式で提出してください。
- イ 対応時期については、製品の標準機能として今後追加リリースされる場合はその提供時期、個別対応となる場合は、対応に必要な期間を記載してください。
- ウ 追加費用については別紙6_概算見積様式への記載は不要です。

(4) システムが有する帳票について

- ア 「別紙 3_帳票一覧(案)」について、帳票の有無、カスタマイズ可否、追加費用、対応時期、備考欄に追記するとともに、修正提案や実現性に関するご意見があれば、備考欄に記載のうえ、Excel 形式で提出してください。
- イ 対応時期については、製品の標準機能として今後追加リリースされる場合はその提供時期、個別対応となる場合は、対応に必要な期間を記載してください。
- ウ 追加費用については、カスタマイズ内容毎に記載するものとし、項目追加・削除及び計算ロジック変更の場合は項目ごとの単価を記載することとします。また、別紙6_概算見積様式への記載は不要です。

(5) ライセンス等に関するご意見等

現時点の契約状況について「別紙4_ライセンス等契約状況一覧」に提示します。

提案する次世代校務 DX 環境を提供するために必要なライセンスに関する情報(ライセンス種別、利用可能機能、単価、提供価格等)を記載し、Excel 形式で提出してください。なお、利用可能機能を記載した資料については製品パンフレット等で可とします。

また、契約数により単価や提供価格が変動する場合は、その情報も記載してください。

(例:1～○ライセンスの場合△円、○～●ライセンスの場合▲円)

(6) 見積書

以下の内容を前提としてください。

- ア 「別紙6_概算見積様式」に記載し、Excel 形式で提出してください。
- イ 見積金額は千円単位で記載してください。
- ウ 市町村ごとの経費について、個別に計上する必要があるものは市町村ごとに、県全体として協議会が定めた方法で按分が可能な場合は、全体額を市町村協議で按分の欄に記載してください。
- エ 次世代校務 DX 環境の利用開始年時期は市区町村により異なるため、個別導入費や年間費用の計上タイミングを含めてください。
- オ 次世代校務支援システムに以下の機能が標準で備わっているか、オプション又は外部連携することで実現可能なのかご回答ください。また、追加費用が掛かる場合は、機能ごとに費用を算出ください。

(ア) 学籍管理

(イ) 教務管理

(ウ) 保健管理

(エ) グループウェア

(オ) ダッシュボード

(カ) 保護者連絡

(キ) 勤怠管理

(ク) 施設備品管理

(ケ) 徴収金

(コ) 給食

(サ) デジタル採点

- カ システムは5年間利用する想定として見積をしてください。
- キ カスタマイズに関する費用は別紙2及び3に別途記載することとし、別紙6には記載しないでください。
- ク データ移行費用については、以下の条件で見積をしてください。なお移行できないデータが存在する場合はその旨回答概要に記載願います。
- (ア) 移行対象は現年度及び過去5年度分
 - (イ) 指導要録電子原本は全期間
 - (ウ) 健康診断情報は最大9年間
 - (エ) その他履歴情報は事業者提案
- ケ 見積様式に記載されている項目以外に必要な費用があれば、「その他費用」の項目に提示してください。

7 本 RFI の留意事項

- (1) 本 RFI は、次期校務支援システム環境整備について検討するために行うものであり、契約を前提としたものではありません。
- (2) 本 RFI の依頼に対して、どのようなご提案をいただいても、これをもって将来のシステム導入を約束するものではありません。
- (3) 富山県へ提示した情報は、次期校務支援システム環境整備について検討するために必要な範囲で利用します。
- (4) 本 RFI に係る資料の作成、提出等に要する費用は事業者の負担とします。
- (5) 提示資料は、返却しません。
- (6) 提示資料の内容について、後日照会やヒアリング、追加の資料提供依頼を行う場合があります。
- (7) 提供いただいた情報は、提案者の承諾なく第三者へ提供又は配布することはありません。
- (8) 本 RFI において、富山県から提供を受けた資料は、本情報提供以外では使用せず、依頼終了後に廃棄・消去してください。

8 本 RFI に関する質問

- (1) 質問方法
 - ア 質問は「別紙7_質問票」に記入の上、(3)に記載する連絡先へ電子メールで送信してください。
 - イ 電子メールの件名に、「【質問】【RFI】【富山県】次世代校務 DX 環境整備[会社名]」と記載してください。
 - ウ 質問及び回答は、富山県教育委員会教育企画課のホームページに掲載します。

- (2) 質問受付期間
令和8年10月5日(月)～令和8年10月23日(金)17時
- (3) 連絡先
富山県教育委員会教育企画課 ICT 教育推進係担当
五十嵐、四月朔日(わたぬき)
メール:akyoikukikaku@pref.toyama.lg.jp

9 提出先及び提出方法

- (1) 提出方法
 - ア 本 RFI の回答及び資料の提出は、(3)に記載する URL にアップロードしてください。
 - イ 電子ファイルは1つに圧縮し、ファイル名を「【回答】【RFI】【富山県】次世代校務 DX 環境整備 [会社名]」と記載してください。
- (2) 提出期限
令和8年10月30日(金)17時
- (3) 提出先 URL
<https://toyama-pref.app.box.com/f/1556f47b871f4647bce160e085f78051>